

「福祉・防災」の充実で安心の葉山を！

災害に強いまち

即応体制

予知・情報伝達

活断層・震度7の三浦半島断層群

「切迫している」東海・神奈川県西部地域

この未曾有の大災害をどうやってのりこえるのか。命とくらしを守る自治体の役割がこれほど問われている時はありません。三浦半島には、衣笠・北武・武山など5つの活断層があり、森戸橋付近から葉山消防署を突き抜けるように走っています。専修大の太田陽子教授は「ひずみの蓄積は限界に向かつて近づきつつある」と指摘しています。その他、下記のように葉山町で震度4〜7、死者30〜470人と推定される地震が予想されています。今回の大震災を教訓に地震規模・被害想定の見直しとともに災害を未然に防ぐための計画と対策を強力にすすめます

葉山町の消防力は県下最下位

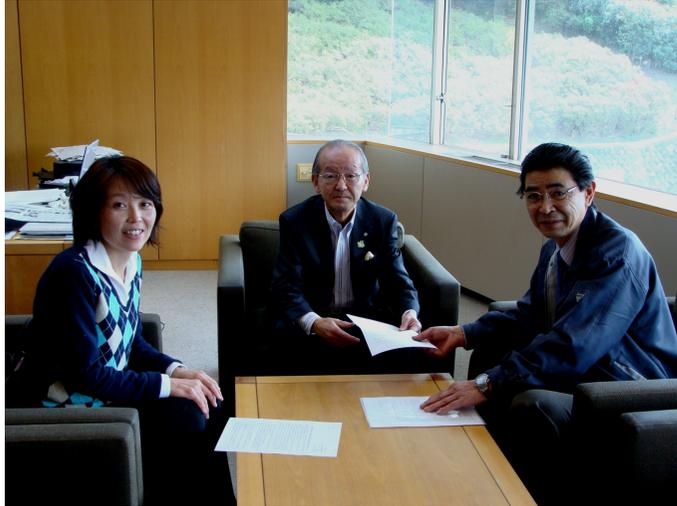
分署の新設で消防力の抜本的強化を！

東日本大震災でも、情報伝達、避難誘導、救急、救助、消火など、真っ先に活動し、力になったのは自治体の消防職員と消防団のみなさんでした。右のような災害が予想される中、葉山町の消防力は国基準の半分以下。県下で

上山口・一色小の早期耐震化・住宅の耐震化促進を 防災行政無線の改良と難聴地域の解消を

小中学校をはじめ、公共施設は災害時の避難場所となることから、耐震補強が急がれます。24年度予定の上山口小の管理棟、一色小の一部教室棟の耐震工事を前倒して、今年度中の着工を、また、住宅の耐震工事の補助の引き上げを求めます。

災害時の迅速な情報伝達は、命にかかわる問題です。20年以上たった防災行政無線の機器は音が悪く聞きづらいため、町民から苦情が寄せられています。計画的に機器を更新し、難聴地域には新設や、希望世帯には、戸別受信機の設置をすすめます。



4月11日 近藤昇一議員と窪田美樹党くらし相談員が、町長へ「震災支援と防災対策」の緊急申し入れを行いました。

命を守る医療・介護・子育てのネットワークの強化

東日本大災害では、17万人の方が避難を余儀なくされ、避難所での2次災害が深刻な問題となっています。災害から住民の命を守る強いまちをつくるには、ハード面の強化とともに、日常普段から、医療・介護・福祉・子育てなどの強い基盤とネットワークを築くことが必要です。葉山町は高齢化率26%を超え、少子高齢化、核家族化も進んでいます。「命を守るネットワーク」は福祉のまちづくりでもあり、その実現に全力を尽くします。



数字で見る関東大震災の葉山町の被害状況

死者	19人
負傷者	57人
家屋	全焼 4戸 全壊 170戸 半壊 241戸
漁船	流失 4隻 半壊 10隻

出典 葉山町郷土史(葉山町)
郷土史葉山(葉山郷土史研究会)より

葉山町の被害想定(葉山町地域防災計画より)

想定地震	切迫性	震度	建物被害
東海(M8級)	切迫している	5強〜5弱	560棟
南関東(M7.9級)	ある程度切迫している	6弱〜7	8310棟
神奈川県東部(M8)		6弱	2460棟
神縄・国府津〜松田断層帯(M8)		6強	1850棟

	基準人員	実人数	充足率21年度
葉山	111	47	42.3%
逗子	168	88	52.4%
鎌倉	301	242	80.4%
藤沢	503	446	88.7%
横須賀	607	437	72.0%



デジタル式受信機(南足柄市)

被災者救援・防災対策強化を(申入れ要旨)

- ①被災者支援強化 ②財政支援 ③受け入れ住居確保と総合支援、相談窓口設置 ④津波想定と地域防災計画の見直し ⑤消防分署新設、消防職員増員 ⑥公共施設、橋梁対策、住宅耐震工事助成復活 ⑦防災無線戸別受信機の配布 ⑧医療確保の自家発電機の助成

日本共産党

東日本大震災で被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます

災害に強い福祉のまち 葉山を一緒に



党くらし相談員 介護福祉士

窪田美樹

くぼた みき

新葉山

2011年4月号外 発行 日本共産党葉山支部 長柄1461-173 TEL 874-5111

日本共産党の見解を紹介します。

日本共産党

介護福祉士の経験を生かして

くぼた みき

死者1万3000人、行方不明者約1万4000人、17万人の方が家も財産も失い避難所に……。震災から1カ月以上経過しましたが、日々、胸の痛くなる思いで東日本大地震の報道に接しています。

葉山でも、関東大震災では大きな被害にあいました。今、三浦半島活断層群は活動期と言われています。又、「動く原発」とも言われている原子力艦船の原子炉事故が起きた場合、3〜4km以内の葉山町は、全町民が町外に避難することになります。

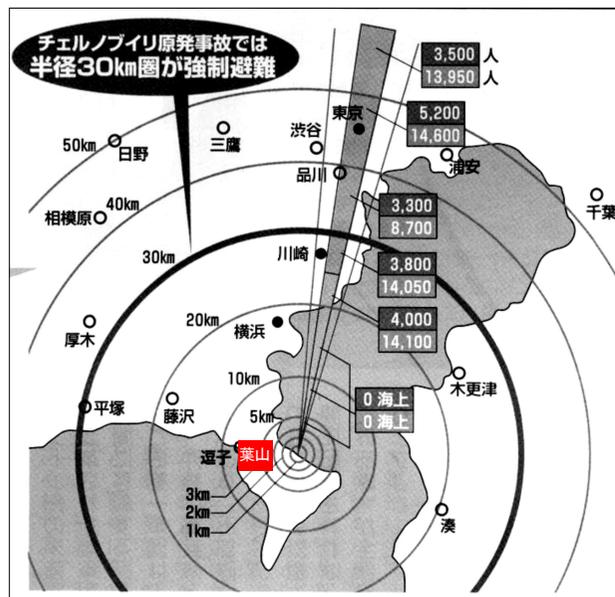
「福祉の増進」という自治体の原点は、「災害から命を守る」ことと一体です。

その為には、医療・介護・福祉・子育てのネットワークは欠かせません。

私は、介護福祉士の経験を生かして、全力で頑張る決意です。



動く原発 原子力空母 事故があったら大変です



- 3つの **ゼロ** をめざして
- 特別養護老人ホームの待機者ゼロに
 - 中学校卒業まで子どもの医療費ゼロに
 - 保育園の待機児童をゼロに

町民アンケートには、道路補修や信号機の設置など具体的なご要望をたくさんいただきました。現地を確認し、行政に要望しています。

保育園の待機児童20人、特別養護老人ホームの待機者は約150人、施設整備が待ち望まれています。また、高すぎる国保料や介護保険料は、町独自の軽減制度が必要です。

学校トイレの改修や、中学校給食の実施など子ども達からも要望が寄せられています。

横須賀を母港とする原子力空母ジョージワシントンは、原発事故発生後、佐世保基地に寄港しました。同空母は、3月21日から横須賀基地を離れていましたが、共同通信は「福島第1原発事故を受けての退避措置とみられる。」と報じています。

福島原発事故による住民避難は、半径20kmです。葉山町は、横須賀基地から3〜5km。もしも横須賀米軍基地で原子炉事故が起こったら、放射能被害は甚大です。国民の安全を考えたら原子力空母の母港や原潜の入港をやめさせることです。